

【開講日】令和5年4月10日（月）

文化

0501016

これから中世古文書を 読みたい方のための古文書学

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	月曜日		日程	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤講師 生駒 哲郎 （いこま てつろう）				
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。 山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、武蔵野大学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議員。 主要著書日本の名僧6『重源：旅の勸進聖』（共著 吉川弘文館）、『中世の寺院体制と社会』（共著 吉川弘文館）、『中世の寺院と都市・権力』（共著 山川出版社）、『山岳信仰と村落社会』（共著 岩田書院）など。				
内容	この講座は、はじめての古文書学を受講する方を対象とした講座です。 1くずし字を読む 2古文書の慣用表現を理解する。 この2つを目的にした初級編の古文書学の講座です。 具体的には『東寺百合文書』を中心にそのたの古文書を題材にします。 今回は、武士の発給文書を講義します。 上記の古文書を題材に、書出文言（かきだしもんごん）し、書留文言（かきとめもんごん）、差出（さしだし）、宛所（あてどころ）、年月日、本文などの様式論・形態論を基礎から皆さんと一緒に考える講座です。 今回は鎌倉時代から室町時代にかけての古文書を読みますが、必要に応じてその他の関連文書も紹介いたします。				
	① 4月10日：源頼朝の発給文書 ② 4月24日：関東御教書（かんとうみぎょうしょ） ③ 5月15日：足利尊氏の発給文書 ④ 5月29日：幕府奉行人の奉書（ほうしょ） ⑤ 6月12日： ”				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

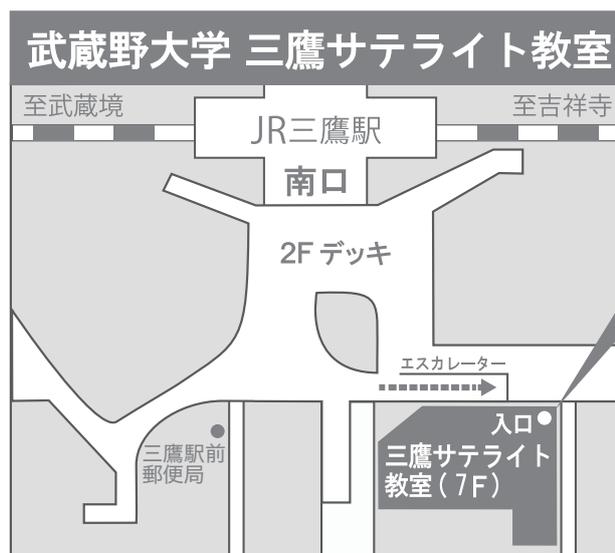


武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20
TEL：042-468-3222
月～金（祝祭日除く）9：30～16：30
エルエルエス
[http:// lls .musashino-u.ac.jp/](http://lls.musashino-u.ac.jp/)

武蔵野大学 生涯学習

検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。